

令和6年度

第73回 大垣市美術展

青年の部

絵画・デザイン・書道・写真・彫塑工芸

と き 令和6年11月9日(土)～17日(日) 午前9時～午後5時
 ※休館日:11月12日(火)

ところ 大垣市サイトピアセンター 展示室4-A・B(文化会館4階)

主催 大垣市・大垣市教育委員会
 後援 大垣市文化連盟・大垣美術家協会
 運営 大垣市美術展運営委員会
 公益財団法人大垣市文化事業団



◆ 絵 画

1 市展賞	逡巡から明日へ	松原愛華	22 入選	あなたはだあれ?	伊藤香帆
2 優秀賞	華 奢	三宅望生	23 入選	微 睡	辻里菜
3 優秀賞	朝 焼 け と 友	中野寧々	24 入選	永 遠 の 夏	古田梨紗
4 優秀賞	自 信 を 纏 う	日比彩友美	25 入選	白 鳥 の 湖	稲葉愛友
5 優秀賞	負 の 感 情	岡村琉唯	26 入選	幸 せ の 確 率	熊江かんな
6 奨励賞	5 時 間 目	小川丹都	27 入選	静かな森の中で。	松原果音
7 奨励賞	追 憶	村井美公	28 入選	と び た い	勝野里音
8 奨励賞	わかよたれそ つねならむ	伊藤永朔	29 入選	放 課 後	高橋梨里
9 奨励賞	夢 の つ づ き	平林彩和	30 入選	未 来 へ	吉田雪乃
10 入選	佇 む 巫 女	東山佳央梨	31 入選	至 福 の 時	土田健留
11 入選	猫 と 雲 と 私	藤井橘華	32 入選	海 中 の 景 色	長柄夏季
12 入選	青 龍	日比野汐莉	33 入選	好きなものづくり	佐藤芹花
13 入選	夜 明 け の 散 歩	石川茉紀	34 入選	お り る	小寺日葵
14 入選	自 由	小松木日湖	35 入選	う た た 寝	新川夏望
15 入選	魅 惑	佐藤真奈実	36 入選	私 の 秘 密 の 場 所	今西理央
16 入選	生 命 の カ タ チ	太田悠介	37 入選	て ん て ん	村 瀬 晃
17 入選	空	田上愛華	38 入選	友 達	森 朶 那
18 入選	オ ブ ジ ェ ク ト	阿知野里菜	39 入選	四 人 四 色	水谷綾音
19 入選	Sleeping kingdom	井納彩那	40 入選	夢 見	山内七海
20 入選	舞 う	多喜千莉	41 入選	ミ ル ク テ ィ ー	大塚 怜
21 入選	碧 海 と 僕	後藤ゆい	42 入選	不 撓	大橋桜奈
			43 入選	迫 る 未 来	高野帆乃香

- 44 入選 夢 田中美羽
 45 入選 夢のつづき 浅井夏葵
 46 入選 ふしぎの国へようこそ 宮内菜摘

◆ デザイン

- 1 市展賞 花 と 鯉 河瀬豊虎
 2 優秀賞 宇 宙 人 藤塚渚
 3 優秀賞 毬 遊 び 野中陽毬
 4 奨励賞 瓶 視 大橋沙雪
 5 奨励賞 現 実 逃 避 川口沙弥
 6 奨励賞 染 異 色 藤井秀弘
 7 入選 Com'on blue sad 西牟田結芽
 8 入選 記憶の中の思い出と思い出 福岡花梨
 9 入選 蝶 々 竹中心峰
 10 入選 び た み ん 蔦屋望愛
 11 入選 包 ま れ る 清水葵
 12 入選 性別どっち? 林優衣菜
 13 入選 いつか消える 佐々木唯名
 14 入選 夢 幻 伊藤美怜
 15 入選 孤 道内優
 16 入選 花 一 華 廣岡菜歩
 17 入選 怠 惰 江森莉子
 18 入選 勇魚の泣く頃は 市原在
 19 入選 冒 険 伊藤舞織
 20 入選 たたかないで 久賀千恵子
 21 入選 万 事 休 す 松下泰己
 22 入選 おやすみパパママ 内田みのり
 23 入選 寝 過 ご し た 安田璃香
 24 入選 バ ベ ル の 城 田口颯流
 25 入選 駿 足 長 阪 田中志歩
 26 入選 妖 界 田中杏奈
 27 入選 夢のパンケーキタワー 北村紗耶
 28 入選 空 想 高橋蓮弥
 29 入選 見 返 り 美 猫 凶 伊藤舞衣子
 30 入選 口内パニック! 寺倉百々花
 31 入選 temptation -誘惑- 坂野優妃
 32 入選 海 底 街 大郷有里

◆ 書 道

- 1 市展賞 十 二 字 句 堀内優妃
 2 優秀賞 臨 自 書 告 身 帖 佐部利昇矢
 3 優秀賞 臨粘葉本和漢朗詠集 安藤康貴
 4 優秀賞 臨 高 野 切 第 一 種 粟野美咲姫

- 5 優秀賞 韋 応 物 詩 藤田和佑
 6 優秀賞 白 楽 天 詩 伊藤朱莉
 7 奨励賞 臨孫秋生等造像記 山田美桜
 8 奨励賞 呉 錫 麒 詩 國枝由侑
 9 奨励賞 王 鐸 詩 石田晴菜
 10 奨励賞 臨 張 猛 龍 碑 中嶋雫
 11 奨励賞 臨 礼 器 碑 細野菜南
 12 奨励賞 臨 王 鐸 王 維 詩 稲川美緒
 13 奨励賞 臨比丘道匠造像記 内藤潤
 14 奨励賞 臨 雁 塔 聖 教 序 馬淵結愛
 15 入選 臨 高 野 切 第 一 種 陰田久登
 16 入選 臨 松 風 閣 詩 卷 野村優希人
 17 入選 臨 多 宝 塔 碑 小粥朱莉
 18 入選 臨 雁 塔 聖 教 序 伊藤千夏
 19 入選 杜 甫 詩 鶴飼明日葉
 20 入選 臨 九 成 宮 體 泉 銘 赤塚彩瑛
 21 入選 臨 蘭 亭 序 青木真菜
 22 入選 臨 蘭 亭 序 林美月
 23 入選 臨 祭 姪 文 稿 西村咲來
 24 入選 臨 枯 樹 賦 桐山結
 25 入選 臨 蘭 亭 序 清水菜央
 26 入選 臨 屏 風 土 代 伊藤杏月
 27 入選 臨 蘭 亭 序 黒田莉子
 28 入選 臨 集 王 聖 教 序 長尾璃子
 29 入選 臨 楽 毅 論 兒玉はるな
 30 入選 臨 寸 松 庵 色 紙 竹中みちる
 31 入選 臨 関 戸 本 古 今 集 岸上結愛
 32 入選 臨 蘭 亭 序 柳瀬綾華
 33 入選 臨 九 成 宮 體 泉 銘 岡島千夏
 34 入選 臨 孔 子 廟 堂 碑 浅井心花
 35 入選 臨 集 王 聖 教 序 古藤陽
 36 入選 臨 趙 之 謙 ナポレオンの言葉 坂口はな
 37 入選 石 川 丈 山 詩 浅野結愛
 38 入選 生 き る 幸 石田真那実
 39 入選 論 語 山口乃愛
 40 入選 臨 争 坐 位 稿 上野真麻
 41 入選 臨 光 明 皇 后 楽 毅 論 柴山來奈
 42 入選 臨 雁 塔 聖 教 序 田中心優
 43 入選 臨 牛 橛 造 像 記 山岡璃緒
 44 入選 七 言 二 句 橋本祐磨
 45 入選 七 言 二 句 春井ほのか
 46 入選 臨 風 信 帖 蒔田理瑚
 47 入選

48 入選 臨 張 猛 龍 碑 安田里菜
 49 入選 画 三 首 之 一 田中実優
 50 入選 臨 黄 道 周 扇 面 秋 山 栞
 51 入選 臨 王 鐸 宿 江 上 作 北川聖真
 52 入選 臨 王 鐸 秋 月 帖 小林蒼依
 53 入選 臨 米 芾 李 太 師 帖 馬淵絵未那
 54 入選 白 楽 天 詩 勝野瑞葉
 55 入選 五 言 句 原田みこと
 56 入選 荆 叔 詩 古 市 旭
 57 入選 六 言 句 梅田結衣
 58 入選 五 言 句 多賀有佳里
 59 入選 源 頼 政 の 歌 森 千 紘
 60 入選 王 瑶 湘 詩 堀田郁佳
 61 入選 袁 枚 詩 松原怜愛
 62 入選 施 閏 章 詩 宮川真緒
 63 入選 沈 受 宏 詩 山賀歩美
 64 入選 趙 翼 詩 古田音羽
 65 入選 許 虬 詩 長屋里歩
 66 入選 王 瑶 湘 詩 若原瑠花
 67 入選 額 田 王 の 歌 大橋明音
 68 入選 清原深養父の歌 矢野里沙
 69 入選 登 鶴 鵲 楼 山田貴仁
 70 入選 臨 九 成 宮 體 泉 銘 日比野禅
 71 入選 臨 孟 法 師 碑 堀田蓮空
 72 入選 臨 孔 子 廟 堂 碑 山田美羽
 73 入選 坂 上 是 則 の 歌 宮川あきな
 74 入選 臨 蘭 亭 序 杳名璃子
 75 入選 王 維 詩 平野和真

14 入選 帰 り 道 吉田絢音
 15 入選 狙 い を 定 め て 岡部留奈
 16 入選 撮 っ ち ゃ う ぞ ! 竹中うた
 17 入選 梅 雨 の 宝 石 箱 清水夏樹
 18 入選 それぞれの好きなこと 園谷優澄
 19 入選 Imaginary Friend 多田伊織
 20 入選 夜 明 け の 最 前 線 近藤悠生
 21 入選 光 と 闇 野村陽葵
 22 入選 冬 の 空 児玉朋花
 23 入選 進 歩 松村尚胡
 24 入選 てんとう虫の飾り付け 水谷莉子
 25 入選 小 径 舘慶一郎
 26 入選 芽 吹 き 宮川倅寧
 27 入選 満ち足りていたはずの僕 西村比呂
 28 入選 帰 着 渡 邊 峻
 29 入選 明 日 へ の 光 廣 瀬 健
 30 入選 も う 寒 い ね 久保田凜
 31 入選 ス マ ホ 視 点 加賀由莉
 32 入選 こ の 一 瞬 清水茉祺
 33 入選 音 弦 大橋芽生
 34 入選 勝 利 を 信 じ て 山田梨緒
 35 入選 小 さ な 世 界 尾田真依
 36 入選 花 火 大 会 の 帰 り 道 平河咲良
 37 入選 反 射 す る 時 間 山口陽向
 38 入選 飾らないあの笑顔で 田中耀乃
 39 入選 瞳 の 威 厳 三輪みゆな
 40 入選 つまんないニャー 中川このみ
 41 入選 首を垂れる稲穂たち 林和実佳
 42 入選 一 瞬 横幕日奈子

◆ 写 真

1 市展賞 努 力 の 結 果 大塚天響
 2 優秀賞 桜 演 舞 山田歩里
 3 優秀賞 海 面 襲 来 !! 細野朔史
 4 奨励賞 静寂を破る鮮やかな瞬間 高橋快聖
 5 奨励賞 朽 ち 行 く 流 れ 李 翔 鵬
 6 奨励賞 屋 台 の 賑 わ い 松岡朋葉
 7 奨励賞 力 強 き 声 援 服部真侑
 8 奨励賞 和 の 響 き 窪 田 陽
 9 入選 満 開 の 下 で 古田和奏
 10 入選 太 陽 の 花 岩田紗枝
 11 入選 映し、光る雫たち 毛利光来
 12 入選 桜 咲 く 日 西松朱莉
 13 入選 初 夏 日 暮 れ 松 田 華

◆ 彫 塑 工 芸

1 市展賞 終 点 美術部一年生
 2 奨励賞 多 様 性 共同制作
 3 入選 限 界 学 生 津田紗希

●絵 画

市展賞の「逡巡から明日へ」は高校生らしく、真摯にモチーフと向き合う姿に好感が持てます。時間をかけた丁寧な描写、作者が悩み、工夫し、楽しみながら制作していたことがうかがえる作品です。優秀賞の作品は、それぞれに表現方法が違って見応えがありました。魅力的な部分もあるのに、もう少し時間をかけて欲しい残念な箇所も見られます。画面全体のバランスや苦手な部分にも向き合い作品を仕上げてください。奨励賞の作品はモチーフへの向き合い方が個性的です。ただ、もう少し細部の描き込みも大切にしましょう。今年は出品数が60点と増えて作品全体も見応えがありました。部活動の時間が取りにくい中でも頑張って制作している美術部員の姿に感動しています。油絵の大きな絵画作品は高校時代でしか描けないものです。時間をかけて楽しみながら制作してください。

●デザイン

今年はデザインでも出品数が多く、様々な表現がありました。その中でも市展賞の「花と鯉」は写実的な技術力はもちろん、印象的な色彩や大胆な構図が一際目を引く作品でした。この作品は色使いやモチーフなど、いろいろなところで対照的な表現が見られます。モチーフとなる植物や生き物たちは写実に描かれていますが、背景は金屏風のように煌びやかで平面的です。さらにその背景の色に対し水面下は暗く陰鬱な濃い緑色で、色彩的なコントラストも強くなっています。そういった構成要素の一つ一つが「花」とそれを羨望のまなざしで見つめる「鯉」の対照性を際立たせています。優秀賞や奨励賞の作品もそれぞれ表現が多様で、どれも技術の高さを感じます。デザインとしてのメッセージ性を何で表現するか、常にそれを意識して、描画力だけでなく構図やモチーフなど細部にこだわった作品が入賞することとなりました。全体的にも実力の感じられる作品は多くありました。ぜひ、今後の制作にもデザインとしてのこだわりをもって、質の高い表現を目指してくれることを期待します。

●書 道

本年度の書道作品は例年通り、漢字・かな・近代詩文などの各部門の作品が出品され、各学校の書道に対する熱意が感じられ、大変喜ばしく力強く感じました。特に、今年度は出品点数もかなり増えて審査する側も大変嬉しい限りでした。出品作は高校生の作品にふさわしく臨書作品を中心に創作の力作もあり、入選、入賞の作品を選定する時に大変苦慮いたしました。入賞作品はどれも練度が高く、素晴らしい作品が多く見応えのあるものばかりでした。今回惜しくも入選されなかった生徒さんも作品の展示が始まりました是非会場に足を運んで鑑賞していただき、今後の作品制作の参考にしてください。書は普段の練習の積み重ねが大事です。諸君の今後の努力に期待します。

●写 真

市展賞の「努力の結果」は、プレーヤーの集中した表情とご両親の笑顔を絶妙のタイミングで捉えた微笑ましい写真です。優秀賞の「桜演奏」は、桜並木を背景にして演奏者の表情と撥（ばち）の位置を上手に捉えた作品で構図のバランスも素晴らしいです。「海面襲来!!」は、お城が雲の上に浮かび上がっているかのような幻想的な写真に仕上がっており、工夫あふれる作品です。昨年と比較すると出品数が倍増してレベルの高い作品が数多くみられ、入賞者を選ぶのに例年以上に時間を要しました。以前は静物の写真が多く見受けられたのですが、様々な場所に足を運び、高校生の視点で人物を写した写真が増えたのが特徴です。自分が作品に込めた「想い」や「テーマ」を観る人に効果的に伝えるようにするには、被写体、構図、光の当たり方、シャッタースピード、露出、そしてトリミング等が大切な要素となりますが、その写真が醸し出す勢いを大切にしてください。また、作品とタイトルをじっくりと眺めた際に、お互いが絶妙にリンクし、観る者を納得させるようなタイトルの付け方も重要となります。これからの失敗を恐れず大胆に、かつ繊細に作品作りに挑戦してみてください。

●彫塑工芸

出品数が少ない部門ですが、立体作品には素材を組み合わせたり、着色したり様々な角度からの見方を想定して制作するという面白みがあります。

市展賞の「終点」は、様々な素材を使用しながら細部まで意味を持たせて作り込んであり、現実にある見えている部分と見えてはいけないけれど避けて通れない問題について高校生らしい目線で考えられている作品になりました。奨励賞の「多様性」は柔らかいフェルト素材の動物と硬い光沢のある粘土の植物という異なる特徴を持つ存在が1つの鳥かごに入っている作品で、どちらも可愛らしい様子で個性を認め合い共存しているということを表現しているように感じました。鳥かごの造形にもう少し工夫が欲しい所です。

立体作品は、制作するプロセスにも魅力があるので、今後さらに出品数が増えることを期待したいです。

審査員

《絵画・デザイン・彫塑工芸》	金田 典子	鈴木 泰子	千賀 希
《書 道》	右近 正枝	大槻 章夫	豊永 裕之 安田美智代
《写 真》	河村 廣吉	水上 尊雄	